

大会趣意書



ヒッティング競技は、「打つ」という武技の行使において、自己の心技体を高め統合させるスキルの追求を目的とする。さらに他者の尊厳を護り、同時に自己の尊厳を最高に高める「礼の精神」の涵養を目的とする。よって、本競技においては、自他の無益なダメージの与え合いを避けて、自他の技をより善く活かすことを目標とする。

また、我々は、本競技の目的を実現しようとする意志を「武道人精神 (BudoManShip)」と呼び、その精神を以て世界中で育まれた武道文化を、多様な文化や教育と融合させる。

本競技は、2011年に制定されたオリンピック憲章にある、オリンピズムの根本精神に準拠し、オリンピックムーブメントへの参入とオリンピックゲームの認定を目指すものである。

オリンピック憲章では、「オリンピズムは人生哲学であり、肉体と意志と知性の資質を高め融合した、均衡のとれた総体としての人間を目指すものである。スポーツを文化と教育を融合させることで、オリンピズムが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、良い手本となる教育的価値、社会的責任、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重に基づいた生き方の創造である」と明記されている。そのオリンピズムと我々の目指す「武道人精神」も同根のものである。それは、全人類の叡智に根差したものであり、われわれ「IBMA」の目指す「大義」の実践と同一のものである。

今回、本競技理念に賛同する、あらゆる武道家、格闘家、競技者、また、老若男女の方々に本競技の参加を呼び掛けたい。ただし、本大会は本競技大会に向けたプレ大会として開催するものである。ゆえに参加が必ずしもオープンではないこと、また準備期間の少ないこと、そして運営の不十分な点をご理解いただきたい。